

Spine Surgery and Related Research (SSRR)

第 21 回 (2023 年第 2 回) 編集委員会議事要録

令和 5 年 4 月 13 日 20:00~ Web 開催

参加者

担当理事: 筑田博隆

Editor-in-Chief: 千葉一裕

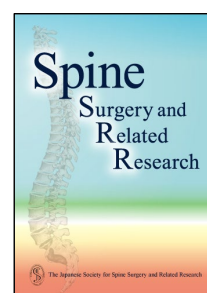
委員長: 折田純久

委員: 岡田誠司, 川口善治, 高橋寛, 中嶋秀明, 根尾昌志, 橋爪洋, 宮腰尚久, 山下一太,

アドバイザー: 長谷川和宏

杏林舎: 小嶋, 田村, 岡田

欠席: 加藤真介, 渡邊慶



1. 確認事項

前回議事録案の確認

2. 審議事項

・掲載料の有料化について

現状では掲載料は無料である。6 月の IF 獲得後は投稿が増加することが見込まれるため、これを機に有料化すべきではないかという提言が編集部より挙げられたが、まずは現状維持にて投稿数を一年程度はモニタリングしつつ、改めて検討する方針となった。

3. 報告事項

3-1 SSRR 編集部からの報告(杏林舎)

① 投稿状況

- ・過去 2 年では 250 編/年ペースの投稿数となっており、本年も 4 月までで 69 本の投稿があった。海外からの投稿も増加してきており国際誌として運営状況は良好である。
- ・採択率について: 全体としての採択率は 30%。reject 率は査読者に厳しめに審査を依頼することである程度コントロール可能。現状では採用率が適正化されつつあり良質な論文が集まっている。年に 1~2 回程度、DE の採用率などのデータを共有する。ただし DE によって担当数や内容のばらつきがあるため、採択率の差があるのはやむを得ない
- ・MEDLINE への申請: Advanced publication が PubMed に表示されるように対策を進める。一度申請が却下されており、その際に受けた指摘を改善し再申請している。

② 特集号状況

疾患名(英)	疾患名(和)	担当DE	責任者(査読者)	SSRR発行予定	掲載状況	JOS発行予定	JOS掲載号
1 Ossification of Spinal Ligaments	脊柱靭帯骨化症診療	川口先生	川口善治先生	2021/9月 vol.5, no.5	8編掲載済み	2021/1月号	vol.26-1
2 Lumbar Disc Herniation	腰椎椎間板ヘルニア	藤田先生	波呂浩孝先生	2022/7月 vol.6, no.4	5編掲載済み	2022/1月号	vol.27-1
3 Lumbar Spinal Stenosis	腰部脊柱管狭窄症	折田先生	川上守先生	2023/7月 vol.7, no.4	5編掲載予定	2022/5月 Online 【2023/1月号】	vol.28-1
4 Cervical Spondylotic Myelopathy	頸椎症性脊髄症	中嶋先生	渡辺雅彦先生	2023/X月 掲載待ち (要掲載号決定)	5編掲載予定	2022/5月 Online 【2023/1月号】	vol.28-1

③ Impact Factor について

6月に公式値が発表される予定。IF獲得によりさらなる投稿数増が見込まれる。
IF維持・向上のためには雑誌としての質を担保する必要があり、採択率を上げる、被引用数を高める等の工夫が必要。

3-2 広報活動に係る報告(大谷委員)

SSRR ショートサマリー動画進捗報告書を共有した。

以下、報告内容。

・進捗

2022年11月より活動開始。現在19本のコンテンツ。

・SSRR ページ推移

164 ユニークユーザー獲得。

・次のステップ

セッション時間データ(平均2分39秒)をうけ、ショートかつ回遊性を意識した動画運用へ、

被引用数把握のため、杏林舎さまとの連携。

3-3 第1回 SSRR Award に係る報告(山下委員)

受賞者リスト

・Best Paper Award

候補論文15編について、現在外部委員(reviewer 上位者5名)、内部委員3名(Editor-in-Chief, 編集委員長, 選考委員長)により採点

Is Blood Loss Greater in Elderly Patients under Antiplatelet or Anticoagulant Medication for Cervical Spine Injury Surgery? A Japanese Multicenter Survey

Masashi Uehara

Long-Term Outcomes after Selective Microendoscopic Laminotomy for Multilevel Lumbar Spinal Stenosis with and without Remaining Radiographic Stenosis: A 10-Year Follow-Up Study

Shizumasa Murata

Relationship between Vertebral Instability and the Cross-Sectional Area of Lumbar Muscles in Postmenopausal Acute Osteoporotic Vertebral Fractures

Shun Okuwaki

・High Citation Award

2021-22年の被引用数が多い順にリストアップし、以下のように決定

Review Article 1 篇

Imaging in Spine Surgery: Current Concepts and Future Directions

Garrett K.Harada

Original Article 2 編

Novel Titanium Cages for Minimally Invasive Lateral Lumbar Interbody Fusion:
First Assessment of Subsidence
Paul R.Krafft

Vascular Evaluation around the Cervical Nerve Roots during Ultrasound-Guided Cervical Nerve
Root Block
Shizumasa Murata

・Best Reviewer Award
渡辺航太先生(慶応義塾大学)

・JSSR 事務局との調整:総会授与式, 賞状作成など
受賞された海外の2名の先生方についての調整の御報告と相談を行った
Garrett K.Harada 先生; 受賞の御報告についてのメールを複数回差し上げるも,
メールのご返信なく, 論文に記載された住所あてに表彰状を送付する.

Paul R.Krafft 先生; メールにご返信あり. 受賞式は欠席, 賞状はありがたく頂くが,
賞金については辞退したい(SSRR もしくは JSSR にご寄付したい)とのご意向.
指定された住所に表彰状を送付する.

4. 次回会議について
2023年9月頃

5. その他